

ご紹介ください
会員募集中!!

会の充実と発展・拡大を図るため
新会員を募集しています。親族、知
人等可能な範囲において、本荘市出
身首都圏在住者をご紹介ください。
お問い合わせ
本荘市総務部企画調整課内
本荘ふるさと会 事務局
☎ 0184-24-3321 (内)279



本 庄 ふ る さ と 会 会 報
第 7 号 設 立 5 周 年 記 念 号
平 成 5 年 10 月 1 日
編 集 ・ 発 行 本 庄 ふ る さ と 会 会 報 会
本 編 集 室 委 員 会 報 会
事 務 局
◇ 秋 田 県 本 荘 市 出 戸 町 字 尾 崎 17
本 荘 市 本 務 部 企 画 調 整 課
☎ 0184(24)3321
◇ 東 京 都 大 田 区 北 馬 込
荒 川 医 院 内
題 字 後 藤 竹 清

本荘ふるさと会誕生して5年 11月に記念式典

首都圏に在住する本荘市出身者
が一堂に会し、ふるさと本荘を語
る「本荘ふるさと会」は、平成元
年十一月二十二日に設立し、本年
で設立五周年を迎えます。

六百三十五名の会員でスタート
した本会は、今日では八百九十七
名と大幅に会員が増加し、総会・
懇親パーティー、そして親睦バス
旅行や会報の発行など、会の運営
も益々充実してまいりました。

来る十一月十四日(日)、目黒雅叙
園において開催される設立五周年
記念式典では、市制施行四十周年
記念協力事業として、本荘市に対
し二百万円を寄贈するほか会員名
簿改訂版の発行なども予定してい
ます。

設立五周年という記念すべき節
目を契機に、「本荘ふるさと会」
のより一層の発展が期待されてお
ります。



平成元年十一月
設立総会懇親パーティー
アトラクション
「日役町獅子(踊り)」



五周年を迎えて

会長 荒川 七郎

「歳月は人を待たず」と申しま
すが、早いもので本荘ふるさと会
も五周年を迎えました。これは誠
喜ばしいことと存じます。これも
ひとえに役員をはじめ、会員皆々
様の熱意あるご協力と、本荘市の
ご尽力あつたのことに、深く感謝
致しております。

顧みまますと、首都圏に在住する
本荘市出身者が一堂に会し、ふる
さと本荘を語る「本荘ふるさと会」
の設立総会を平成元年十一月二十
二日、港区の「ホテル高輪」で六
百三十五名の会員で旗揚げしまし
ました。奇しくも大石内蔵助良雄を
含めた四十七名の義士墓地として全
国に馳せている萬松寺泉岳寺、そ
の隣りがホテル高輪であった、誠

設立五周年を お祝いして

本荘市長 柳田 弘



「本荘ふるさと会」設立五周年
を心よりお祝い申し上げます。
平成元年十一月、六百三十五名
の会員で設立された本会は、年々
会員が増加し、会の運営も益々充
実にしております。誠に同慶
にたえないところであります。

この間ふるさとを離れ、首都圏
でご活躍の皆様にとり、本会が
情報交換の場、心のよりどころと
してかけがえのない会に発展され
ましたことは、荒川会長はじめ、
役員並びに会員各位の熱意とご努
力の賜物であり、心から敬意と感

発足当時のおもひ

本荘ふるさと会が設立したのは昭和から平成となった年でした。
当時の思い出について幹事長と本荘市企業管理者(ガス・水道
局・当時の産業経済部長)に寄稿頂きました。

幹事長 飯田 金 広

なつかしき
ふるさと本荘
設立の趣旨は首都圏を中心にな
住する皆様が一ふるさと本荘を
気楽に語り合い、そして両者を結
ぶ情報の収集、発信の拠点として
本荘市の発展に努める、というも
のでありましたが、私共にとつて
は、由利橋から見るま吉川や、新山
公園の静寂、自然のままの本荘公
園や高蒲公園、そして子供達の夏
休みの思い出たる遠浅の海、青春
の淡い思い出のささげささげさ
夕暮の浜辺など、懐の奥にある忘
れ得ぬふるさとへの思いが「本荘
ふるさと会」の源でありました。
昭和六十四年の正月、友人から
最近新宿の小田急デパートで秋田
の物産展が開催され、その中で本
荘の「こてんまり」の展示をやつて
おりました。本荘になつかしい
思いをいたしました。という話を聞
いた時、今こそ「本荘ふるさと会」を
発足する時期だと強く感じました。
「本荘ふるさと会」の企画をし
た本荘市当局のアイデアとその
情熱は大変なものであり、その関
係者、特に事務局の人々の並々な
る努力と誠意には感謝の気持ち
で本荘の頭の下がる思いです。
私共の永遠のふるさと本荘の為
にはもちろんのこと、この企画に
努力された皆様に報いるためにも
この五周年を契機に、再度「本荘
ふるさと会」の原点を忘れず、更
なる精進を続け、この会を発展さ
せていくよう努めて参りたいと思
っております。

「ふるさと会」発足の頃

本荘市企業管理者
工藤 一 弘



平成3年に実施した
ふるさと訪問ツアー(お座敷列車)

「本荘ふるさと会」が生まれよう
としていたのは、昭和六十年十
一日に矢島線が第三セクターでス
タートし、その後既存企業の振興
策として三年を要して財団法人「本
荘由利ハイテクコース」の設立
も決り、当時の本荘市としては、
今後の活性化と雇用拡大にむけて
新たな企業誘致の検討に入った頃
でもあった。
プランニングの過程で必ず壁に
突き当たるのが情報源の不備であ
った。首都圏に常駐の駐在員を設
置するか、あるいは著名人を囑託
として情報提供を願う「(仮称)
企業誘致アドバイザー」等の設置
について真剣に検討を加えていた
頃である。
首都圏には豊富な情報があり、
これに斬新な発想力と柔軟な適応
力を備えている人々が多いはず。
この人達を活かす方法がないだ
ろうか、「百の空論より一つの実
行」かと、大きな情報源として本
市出身者による会を組織する、全
く新しい事へのチャレンジを試み
た。これが「ふるさと会」出足の
第一歩である。
昭和六十四年一月五日(仮称)
東京本荘追分会)発足世話人会を
歌舞伎座裏手の築地の「秋田藩」
で開いた。この年は新宿小田急デ
パートで毎年開催されている正月
行事の「秋田県観光と物産展」の

都 県 別 会 員 数

平成5年9月1日現在

| 都 県 名 | 男 | 女 | 合 計 |
|-------|-----|-----|-----|
| 東京都 | 156 | 230 | 386 |
| 千葉県 | 80 | 120 | 200 |
| 神奈川県 | 59 | 65 | 124 |
| 埼玉県 | 65 | 82 | 147 |
| 茨城県 | 11 | 12 | 23 |
| 群馬県 | 6 | 5 | 11 |
| 栃木県 | 3 | 2 | 5 |
| 大阪府 | | 1 | 1 |
| 合 計 | 380 | 517 | 897 |

早いもので、もう五周年を迎え
ることになる。心からお祝いを申
し上げたい。「本荘ふるさと会」
の使命は、単に集うこと自体だけ
が目的ではない。会員もまた、良
き本荘市民でもある。発足当時の
原点を大切に、より逞しいふるさ
との風土づくりの原動力になり得
るよう、会員相互の活気溢れた力
に期待すると共に、この交流が次
世代にまで伝わることを願ひなが
ら、私もまた当局の一員として、
「ふるさと本荘」の前進にむけて
がんばりたい。

会員の健康

『健康、七つの条件』

医学博士 莊 司 榮 徳
(千葉市在住・裏尾崎町出身)

台風十一号が自転車のようなゆっくりした速度で北上し、関東と東北に大雨を降らせました。しかし、台風一過、秋の風が訪れ、爽やかな季節の到来です。夏の疲れをいやし、冬にそなえて、身体と心の調子を整える絶好の季節、それが秋です。まずは自分自身の健康をチェックしてみよう。

「健康とはどのような状態か」と改めて聞かれると、誰しも一瞬考えこんでしまうでしょう。WHO(世界保健機構)でも論議が交わされましたが、まとまったのは次の七つの条件でした。

- ①何を食べてもおいしい。
- ②よく眠ることが出来る。
- ③すぐに疲れを覚えない。
- ④快い便通がある。
- ⑤風邪がきみでない。
- ⑥体重が変わらない。
- ⑦毎日が楽しく、明るい。

早速チェックしてみましょう。

①「何を食べてもおいしい」
目が覚める、起きる、顔を洗わずに動く、「お腹が空いた、朝御飯は何にしよう」と思う。「いただきます」と感謝して、一口ひとくち噛みしめると、おいしさが身体中に広がって行く。わかめと豆腐のみそ汁、納豆、鰯の丸干し、みなうまい。ご飯は「秋田こまち」で絶品。ご飯は何を食べてもおいしい、偏りなく栄養がとれる状態であれば、あなたは第一条件合格です。

②「よく眠ることが出来る」
朝、自然に目が覚める。布団の中で伸びをする。「うーん、よく眠った」と気持ち良く起きられる状態、これも大切な条件。一日の仕事が終わって、夕食後団欒のひとときを過ごし、何時も十分のうちに、寝息をたてはじめ、怖い夢を見ることもない。このような眠りが良い眠りです。

目が覚めたら、「今日も元気で頑張るぞ」と起き上がる、そんな良い眠りを持つ人は健康です。

③「すぐに疲れを覚えない」
働けば疲れるのは当たり前。遊びでも勉強でも、長い時間続ければ、必ず「疲れ」が来ます。ですが、働き始めて三十分とたつたのに疲れが止まらなくなるのは異常です。身体はどこかに故障があるか、気が向かないのです。

仕事や勉強を始めると次第に油が乗って、一定の時間、楽しく続けられ、「すぐに」は疲れないうとすれば、あなたは心身ともに健康です。(つづく)

ふるさと会だわら

文化のまち・本庄

郷愁・望郷の念有り。しかし思ふ。帰郷の度に予定を切り上げ、家路に付かせるものは何かと。此の度の帰郷も二日目を迎える頃から手持無沙汰。音楽会、文化演会でも無い、市政だよりを附無く探すも無し。美術館、博物館も当然至極。古里自慢の私に芸員を志す娘も冷やか。仕方なく汚名返上、名譽挽回とばかりに秋田市へ。

講演を聴いた後、美術館・画廊巡り。夕食は秋田民謡に耳を傾けながら地酒ときりたんぽ。終電に乗り遅れるもようやく完全に満たされ、私の失権も回復。本庄迄の車の中で気付く。手持無沙汰、予定を切り上げ再上京を促す症候群は、病名「文化の刺激失調症」であることを、故に思う。

本庄駅を、民謡、本庄追分のBGM(特急が着く時だけでも良い)と文化の香るごんまりと花いっぱい迎えられるか。

何処の小さな町にでもある美術館、博物館の建設は。情報公開とコミュニケーションの為にローカルTV局の開設は。古里出身で中央で活躍中の文化人等の講演や上演は。さらに今、各地で人気の市民マラソン大会を催し、市外県外からも参加者を募り、広く「本庄」をPRしてはと。(私自身、ある町のみちにおこしにアイデアを求められ、仲間と同じ計画をたて、今では十数回目の大会に数千人の参加者を迎える程に発展し、宿泊・土産・物産と大変な地域振興になっている。)

更に末筆雑感。
南内越地区横山の民俗資料館を見学したが、昔、教職にあった方の散財と芳志によるものと聞く。本来、市の事業であつて欲しい。大いに今後の応援対策を望みたい。苦言提言。これもふるさとへのあ、ふるさと、本庄/合掌!! (ふるさと会 一会員)

市政40周年へのプログラム

昭和二十九年三月三十一日、町村合併により誕生した本庄市は、平成六年市制施行四十周年を迎えます。

市では昨年十一月十一日関係する各部・課長等で組織する「市制施行四十周年記念事業検討委員会」を発足させ、市が取りくむ記念事業等について、これまで検討してまいりました。

年内には事業の概要がまとまることとなっており、四十周年記念式典の開催や、四十年のあゆみを発行するほか、市民みんなが四十周年をお祝いし、喜んで頂けるような事業、行事を実施する予定であります。

同時に市内の関係する機関や団体の皆さんに呼びかけ、この記念事業にご参加いただくよう、お願いをすることをしております。

南内越の沿革



市制40周年を迎える ふるさと本庄

明治以前の内越郷十四か村の沿革については前回述べたので、昭和四年頃までの各町内の概観を「南内越・北内越の民俗」(本庄市発行)から抜粋してみよう。

一、川口 本村ノ中央ニ位シ戸数八十戸最大ノ部落ニシテ、芋川橋ヲ隔テ、本庄町ニ接ス、学校、役場、駐在所共ニ当部落ニアリ。

二、柴野 沿革ハ審ナラザレドモ応仁ノ頃三浦行支ナルモノ信州諏訪郡ヨリ来リ愛宕山ニ住シ弟甚助農ニ下リテ柴野ニ移転居住セシトコト。

三、谷地 本村ハ一般飲料水ニ乏シキモ当部落ハ清水湧キ住宅地トシテ好適ノ個所ナリ。

四、土谷 子吉川ニ沿ヘル高地ニアリ往古ヨリ仙北街道筋ニ当リ子吉橋ノ架設(明治十二年)ヲ見タリシモ明治三十三年道路変更ニヨリ解橋セラレタリ。

五、横山 本村大字福山ニアリ打越氏岩倉館ニ居住セシ当時家臣ノ在任セシ所ナリト云ヒ同館ノ麓ニアリ。

六、長者屋敷 今ヲ逆ル約三百年前弥治右工門ナル者福田加藤久四郎宅ニ奇偶シ其後治郎兵エナルモノト共ニ長者川上流ノ沢ヲ開墾セシモノト云フ。

七、福田 正保三年福田渡辺孫七所有ノ田地ニ漏出スル鉱泉ヲ発見(赤田の閑居様に諸病に効驗あることを教示され)其効能著シキコトヲ認メタリ。

八、畑谷 戸数四十戸(人口二四



平成6年11月開業をめざして工事が進められている由利組合総合病院

五人、神社ノ無格社薬師神社、氏神神明社。同村内越部落ト本木耕地ヲ以経界トス。

九、山田 当部落ハ大正三、四頃疲弊困乏ヲ来シ石川理紀之助翁ヲ招聘シテ救済事業ヲ施シ爾來漸時復興ノ氣運ニ向ヒ生産業ノ著シキ発達ヲ認ムルニ至レリ。

十、大浦 往古日本海ニ面セル尾ノ浦又字田尻、石ノ鼻所々ニ人家アリシモ砂飛散甚ダシクシテ居住ナリ難ク(略)元久年中更ニ現今ノ大浦ニ転居セシナリトハ故老ノ言伝ヘナリト云フ。

十一、砂子 刈野街道ノ沿線本庄町ノ入口ヲ抱ス、鉄道開通以前ハ人馬ノ往來頻繁ニシテ客ヲ相手ノ商売ニハ好適ノ位置ナリシガ故漸時集団シテ部落ヲ発達ヲ見シナリ。

今日南内越地区は、国道一〇五号が整備され、由利組合総合病院の新築工事が急ピッチで進められており、大きく変貌しようとしている。

会員だより

このコーナーは会員間の情報交換の場です。出身校同窓会、同期会、出身地区の親睦会のお知らせや催し物のご案内、または会員の消息など、お気軽にご利用ください。

短信も受け付けます。

◎ご利用方法
「本庄ふるさと会」事務局 本庄市総務部企画調整課内へ直接お手紙かファクスでお送りください。
FAX 0184-(23)-13222
FAX 0184-(23)-13222
広く会員の皆様のご利用をお待ちいたしております。

お知らせ

本庄市議会新議長に堀川芳美氏
副議長に工藤兼雄氏を選出

市議会九月定例会が九月一日開会され、田口哲夫氏より提出された議長辞職願と工藤兼雄氏より提出された副議長辞職願を審議、両氏の願い出のとおり許可されました。

これを受け、投票による議長選挙の結果、第十八代議長に堀川芳美氏(六十二才)、副議長に工藤兼雄氏(五十五才)を選出しました。

本庄市制施行四十周年記念
協力事業の御礼

お正月の遊び

「お正月だったってなんだごねがんだ。元日の日だけ、ええべっこ(晴着)着て、うっす(薄い)煎餅十枚を糸で結んで一束になったな法華堂(肴町西村商店)から買って来て、
「しえんべ突き(しょう)」「カルタとり」「石コはじき」
って、甘酒飲みながら遊んだな。
たんげ、こげたことしたもんでがんへんが」
肴町 長谷川千代さんからの昔のお話
本庄市五軒町 佐藤勲子(主婦)発行「本庄の話しことば」より転載

編集後記

会報第七号は設立五周年を記念し、タイトルや写真をカラーにしてみました。
来月十四日は本会の総会・五周年記念式典が目黒雅叙園で開催されます。会員の皆様にはお誘い合せの上多数ご出席くださいますようお願いいたします。